令和3年 第3回 まんのう町議会定例会

まんのう町告示第120号

令和3年第3回まんのう町議会定例会を次のとおり招集する。

令和3年9月2日

まんのう町長 栗田 隆義

1. 招集日 令和3年9月13日
2. 場 所 まんのう町役場議場

令和3年第3回まんのう町議会定例会会議録（第1号）

令和3年9月13日（月曜日）午前 9時30分 開会

出席議員 16名

1番 鈴木 崇 容	2番 常 包 恵
3番 小山 直 樹	4番 京 兼 愛 子
5番 竹林 昌 秀	6番 川 西 米希子
7番 田 岡 秀 俊	8番 合 田 正 夫
9番 三 好 郁 雄	10番 白 川 正 樹
11番 白 川 皆 男	12番 松 下 一 美
13番 三 好 勝 利	14番 大 西 豊
15番 川 原 茂 行	16番 大 西 樹

欠席議員 なし

会議録署名議員の指名議員

5番 竹林 昌 秀	6番 川 西 米希子
-----------	------------

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 常 包 英 希 議会事務局課長補佐 平 田 友 彦

地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名

町 長 栗 田 隆 義 副 町 長 栗 田 昭 彦
教 育 長 三 原 一 夫 総 務 課 長 萩 岡 一 志

企画政策課長	松浦正吾	地域振興課長	松下信重
税務課長	小縣茂	住民生活課長	山本貴文
福祉保険課長	池下尚治	健康増進課長	國廣美紀
農林課長	鈴木正俊	建設土地改良課長	河田勝美
地籍調査課長	宮崎雅則	会計管理者	黒木正人
琴南支所長	河野正法	仲南支所長	多田浩章
教育次長兼学校教育課長	香川雅孝	生涯学習課長	細原敬弘

○大西樹議長 おはようございます。

ただいまの出席議員は16名であります。定足数に達しておりますので、これより令和3年第3回まんのう町議会定例会を開会いたします。

招集者であります町長の御挨拶をお願いいたします。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 皆さん、おはようございます。秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる。朝夕は随分と秋の気配が感じられる今日この頃です。香川県蔓延防止等重点措置期間が今日から9月30日まで延長されました。県下の感染状況は減少傾向にありますが、引き続き、感染対策の徹底と不要不急の外出、移動の自粛をお願いしたいと思います。

本日、令和3年第3回9月まんのう町議会定例会を開催いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私共に大変お忙しい中、御参集を賜りましてありがとうございます。

今議会に上程させていただいておりますのは、報告4件、決算認定7件、議案7件及び諮問1件でございます。よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程等は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入るに先立ちまして、議会報告をいたします。

事務局長、常包英希君。

○常包議会事務局長 御報告申し上げます。

初めに、町長より、地方自治法第149条の規定に基づく議案15件、同法第180条の規定に基づく専決処分報告3件、同法第233条の規定に基づく決算認定案7件を受理いたしました。

次に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条及び第22条の規定に基づく報告1件、人権擁護委員法第6条の規定に基づく諮問案1件、会議規則第14条の規定に基づく議員提出議案1件を受理いたしました。

次に、組合議会関係について、中讃広域行政事務組合、香川県後期高齢者医療広域連合

議会、仲多度南部消防組合議会、香川県中部広域競艇事業組合において定例会及び臨時会が開催され、専決処分の承認議案、一般会計補正予算ほかの審議報告がありました。

次に、監査委員より、令和3年4月から7月分までの例月出納検査の報告、令和2年度分の定期監査、行政監査、決算審査、基金運用状況審査、まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率審査の結果と意見書の提出があり、受理いたしました。

これら報告書類は、タブレットの今定例会の報告フォルダにそれぞれ入れております。

以上で、議会報告を終わります。

○大西樹議長 議会報告を終わります。

日程第1 議会運営委員会報告

○大西樹議長 日程第1、本日の議事日程等について議会運営委員会の報告を願います。

議会運営委員長、大西豊君。

○大西豊議会運営委員長 議会運営委員会の御報告を申し上げます。

9月8日、午前9時30分より、全員協議会室におきまして、町長、副町長、総務課長、議長同席の下、議会運営委員会委員6名が出席し、第3回定例会の運営について審議しましたので、その結果を御報告いたします。

なお、一般会計関係の審査については、先例により、総務常任委員会に付託した後、総務所管以外の部分を該当する各常任委員会において質疑まで行い、最終審査を総務常任委員会で行うこととしております。

それでは、お手元に配付されております議事日程第1号を御覧ください。

日程第1 議会運営委員会報告 議会運営委員長

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定 本日から9月30日までの18日間といたします。

日程第4 町政報告

日程第5 所管事務調査の委員長報告 教育民生常任委員長

日程第6 所管事務調査の委員長報告 建設経済常任委員長

日程第7 所管事務調査の委員長報告 総務常任委員長

日程第8 報告第1号 専決処分の報告について（まんのう町個人情報保護条例の一部改正について）

日程第9 報告第2号 専決処分の報告について（まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について）

日程第10 報告第3号 専決処分の報告について（まんのう町手数料条例の一部改正について）

日程第11 報告第4号 令和2年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率について

日程第12 認定第1号 令和2年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定について 総務常任委員会付託

日程第13 認定第2号 令和2年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 教育民生常任委員会付託

日程第14 認定第3号 令和2年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 教育民生常任委員会付託

日程第15 認定第4号 令和2年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 教育民生常任委員会付託

日程第16 認定第5号 令和2年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定について 建設経済常任委員会付託

日程第17 認定第6号 令和2年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について 建設経済常任委員会付託

日程第18 認定第7号 令和2年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について 教育民生常任委員会付託

日程第19 議案第1号 まんのう町議会議員及びまんのう町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について 総務常任委員会付託

日程第20 議案第2号 まんのう町農村環境改善センター条例の一部改正について 即決でお願いします。

日程第21 議案第3号 まんのう町役場支所及び出張所設置条例の一部改正について 即決でお願いします。

日程第22 議案第4号 まんのう町国民健康保険診療所条例の一部改正について 即決でお願いします。

日程第23 議案第5号 まんのう町琴南総合センター条例の一部改正について 総務常任委員会付託

日程第24 議案第6号 まんのう町奨学金貸与条例の一部改正について 教育民生常任委員会付託

日程第25 議案第7号 まんのう町町民体育館条例の一部改正について 教育民生常任委員会付託

日程第26 議案第8号 まんのう町学校施設使用料条例の一部改正について 教育民生常任委員会付託

日程第27 議案第9号 まんのう町過疎地域持続的発展計画の策定について 総務常任委員会付託

日程第28 議案第10号 区域外道路の路線認定の承諾について 即決でお願いします。

日程第29 議案第11号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについて 教育民生常任委員会付託

日程第30 議案第12号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について 教育民生常任委員会付託

日程第31 議案第13号 令和3年度まんのう町一般会計補正予算（案）第3号 総務常任委員会付託

日程第32 議案第14号 令和3年度まんのう町下水道特別会計補正予算（案）第1号 建設経済常任委員会付託

日程第33 議案第15号 令和3年度まんのう町農業集落排水特別会計補正予算（案）第1号 建設経済常任委員会付託

日程第34 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について 即決でお願いします。

日程第35 発議第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 即決でお願いします。

一般質問は9月14日、15日の本会議にて行います。

以上の日程で意見の一致を見、委員会を閉会しました。

以上で、議会運営委員会の報告を終わります。

○大西樹議長 これをもって、議会運営委員会の委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑はありませんか。

1番、鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員 ただいま委員長の説明の中にありました議案第11号と議案第12号、これはもともと即決で行われていたことですが、なぜ、今回、教民のほうに付託になったのか。これは平成23年から個別外部監査をやってもらっていますが、なぜ、今回、11年目にして我々教民のところに付託になったのか、はっきりと明確な理由と納得のいく説明を願います。

○大西樹議長 議会運営委員長。

○大西豊議会運営委員長 今、鈴木議員のとおりでございますが、教育民生常任委員会の委員長にも相談した結果、こういう結果になりました。以上です。

○大西樹議長 ほかに。

1番、鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員 教民の委員長に言ったと言われますけど、それはちょっと説明の理由とはならないと思うんです。どういった内容でお話しになったか、説明をお願いします。

○大西樹議長 議会運営委員長。

○大西豊議会運営委員長 委員会はそのような結果になりましたので、報告したとおりです。

○大西樹議長 1番、鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員 すみません、議運の委員長、どうして即決から付託に変わったのか、その理由をお願いしますとこちらは聞いています。よろしくをお願いします。

○大西樹議長 議運の委員長、休憩しましょうか。

○大西豊議会運営委員長　基本は議会は委員会主義を取っとる中で、そういう慣例もありましたが、議会運営委員会の中でそういうふうに決定いたしました。

○大西樹議長　1番、鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員　いや、決定したその理由の内容の説明です。それをお願いしているんです。

○大西樹議長　議会運営委員長。

○大西豊議会運営委員長　何度も申し上げますが、委員の中から、今回、付託するという御意見がございましたので、まんのう町議会は委員会主義を取っとりますので、そのように決定しました。

○大西樹議長　ほかに。

鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員　すみません、議長、ちょっと休憩して、説明の内容をはっきりとして御説明していただきたいと思います。

○大西樹議長　議運の委員長、休憩しますか。

○大西豊議会運営委員長　はい。

○大西樹議長　休憩いたします。

休憩　午前　9時47分

再開　午前　9時56分

○大西樹議長　休憩を戻して、会議を再開いたします。

議会運営委員長、大西豊君。

○大西豊議会運営委員長　議会運営委員会の中で、委員会で十分議論してもらいたいという意見があり、従来は即決でありましたけど、そういう結果となりました。

○大西樹議長　鈴木崇容君。

○鈴木崇容議員　すみません、これといった内容がなかったということなんですか。何か私としては非常に納得のいかない説明です。議運の委員会の中でどのような発言があったのか、そういったことをちょっと詳しく教えてください。

○大西樹議長　議運の委員長。

○大西豊議会運営委員長　同じようなことになると思いますけど、今まで即決でありましたけど、委員の中から十分議論をしていただきたいという意見がありましたので、付託ということになりました。

○大西樹議長　ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長　これをもって、質疑を終了します。

日程第2　会議録署名議員の指名

○大西樹議長 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において、5番、竹林昌秀君、6番、川西米希子君を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○大西樹議長 日程第3、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月30日までの18日間といたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、会期は18日間と決しました。

日程第4 町政報告

○大西樹議長 日程第4、町政報告を行います。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 それでは、6月定例議会以降の町政報告をさせていただきます。

今年は梅雨入りが早かったこともあり、平年より3週間ほど長く、過去最長の65日間の長い梅雨となりました。梅雨明けとともに気温が30度以上の厳しい暑さとなり、新型コロナウイルス感染症と熱中症、二つの対策を余儀なくされているところでございます。

また、8月に入って、停滞する前線の影響で断続的な雨をもたらす線状降水帯が発生し、西日本を中心に記録的豪雨となり、各地で土砂災害や河川の氾濫が発生いたしました。幸いまんのう町におきましては警報は発令されなかったものの、今後の台風や大雨等による災害に備えて、関係機関と連携し、事前情報の把握と早期発信、そして減災・防災に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響で1年の延期を経て開催されました東京オリンピックは、緊急事態宣言下で1都3県の会場は無観客となるなど、異例の大会となりました。8月8日にメインスタジアムの国立競技場で閉会式が行われ、17日間にわたる大会が幕を下ろしましたが、史上最多の33競技が実施され、205の国と地域等、合わせて1万1,000人余りが参加し、日本の獲得したメダル数は金が27個、銀14個、銅17個、合わせて58個となり、史上最多となりました。

また、東京オリンピックと同様に、1年延期となりました第16回夏季パラリンピック東京大会が8月24日に開幕しました。162の国・地域と難民選手団を合わせ、史上最大規模の約4,400人の選手が参加し、9月5日まで22競技539種目で争われました。新型コロナウイルス感染対策で全21会場が原則無観客となりましたが、パラアスリートの活躍は障害の有無を超えて多様性を認め合う共生のメッセージを国内外に発信いたしま

した。

次に、新型コロナウイルス感染症対策の状況についてでございます。

国内では、大型連休明けの第4波に続き第5波が襲来し、東京オリンピックが終わったお盆休みの頃から全国において感染力が強い変異ウイルス「デルタ株」が猛威を振るい、新規感染者数がこれまでにない勢いで増加するなど、さらなる感染拡大に歯止めがかからない最も危機的な状況下にあります。

香川県においても同様に、7月下旬以降の感染拡大の状況に応じて順次対策を講じていましたが、8月9日から最も高い警戒レベルの緊急事態対策期に移行しました。しかしながら、県内の1日当たりの新規感染者数は8月13日に初めて100人を超え、その後も増加傾向は収まらず、これまでにない最大の危機的な状況となりました。このため、早急かつ強力な対策を取り、県民の生命を守る適切な医療提供が続けられるよう、8月14日に国に対してまん延防止等重点措置を要請し、8月20日金曜日から9月12日までの間、対象区域を高松市としてまん延防止等重点措置が実施され、その後、9月30日まで延長されました。

そのような状況の中、本町におきましては、国及び県の動向や対処方針、要請等を受けて、6月以降もまんのう町新型コロナウイルス感染症対策本部会議を5回開催し、情報の把握、関係部署・各機関との情報共有と対処方法について協議してまいりました。

特に公共施設等の利用につきましては、感染防止のために、香川県からの要請に基づき、休館・休園をはじめ、利用制限等を引き続き行うことといたしました。詳細につきましては、県内の感染状況も含めてホームページなどでお知らせしております。

施設を利用される住民、各団体の方々には御迷惑をおかけしておりますが、御理解、御協力をお願いいたします。

また、住民の皆様には日中も含めた不要不急の外出・移動そのものを自粛していただくなど、引き続き、最大限の感染防止対策をとっていただきますよう、改めてお願いいたします。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種についてでございます。

4月12日以降、国の示す接種順位に従い、65歳以上の方から始め、基礎疾患のある方や高齢者施設等従事者への優先接種に続き、60歳から64歳の方、50歳代の方へと、年齢の高い方から順に接種対象を広げてまいりました。本町独自の取組としましては、12歳から22歳の方につきましては、学生の夏休み期間を考慮し、7月15日から優先的に予約を受け付けました。現在は対象となる全世代の方が接種を受けることができるようになっております。

また、町内医療機関の御協力の下、6月8日からは個別接種を開始し、65歳以上のより多くの方が7月末までに2回接種を完了するとともに、基礎疾患のある方や次の世代の方へ速やかに接種を実施しております。

また、若い世代の接種率を向上させるため、適時、かりん健康センターで集団接種を实

施しております。

接種率につきましては、9月6日時点の推計で、65歳以上の方は約9割、64歳以下の方は約5割を超える方が2回接種を完了しております。

今後も国の動向を注視し、希望される方が確実に接種を受けられるよう、関係機関との連携を強化して進めてまいります。

次に、本町の財政状況について御報告いたします。

本日より開催の9月定例議会において、令和2年度決算認定をお願いいたしておりますが、一般会計の決算状況は、実質収支が4億6,719万7,000円の黒字となりました。単年度収支も8,611万3,000円の黒字となりましたが、実質単年度収支につきましては、3億7,005万7,000円の赤字となりました。

また、財政の健全化を示す各指標につきましては、経常収支比率がコロナ関連事業などの臨時的経費の増加などにより、前年度に比べて2.7ポイント下降、実質公債費比率は、元利償還金の増加により0.4ポイント上昇し、8.3%となりました。公債費負担比率については、長期債の元利償還金は増加したものの、歳入における一般財源が増加したこと等により、前年度に比べて0.9ポイント下降し、17.3%となりました。

次に、香川県の7月末の人口は94万4,584人と、昨年同期比で5,723人の減となりました。まんのう町におきましても、7月末現在の世帯数は7,483世帯で、昨年同期に比べまして64世帯の減となり、人口は1万8,023人と、359人の減となっております。

次に、防災関係についてでございます。

5月20日より、災害対策基本法の改正に伴い新たな避難情報に変わりました。大きな変更といたしましては、法律改正前の警戒レベル4、避難勧告・避難指示は避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されました。梅雨入り前の法律改正ということで、テレビ等でも大きく取り上げられておりましたが、町広報誌やホームページ等を通じて住民周知に努めておるところでございます。

幸い本年度も梅雨前線による避難情報の発令には至りませんでした。台風や災害の発生については懸念されるころではあります。これまで以上、気象情報等に注視して、住民への避難に関する情報の早期発信に努めてまいります。

また、新型コロナウイルス対策としての町内6小学校体育館への空調設備工事も完了に向けて順調に施工が進んでいるところでございます。

次に、交通安全対策関連についてでございますが、香川県下の本年上半期における交通事故死者数は、統計開始以降で過去最少となっております。歩行者、人対車両の死者数は前年より減少し、過去5年間の平均値を大幅に下回りました。しかし、自転車、二輪の死者数は過去5年間の平均値を上回っております。また、高齢者の死亡事故は依然として多い状況でございます。まんのう町としても、自転車の安全利用と交通ルール遵守の徹底を重点課題とし、警察など各関係機関と連携し、高齢者等の事故抑止に向けた取組を強化し

てまいります。

次に、過疎対策についてでございます。

令和3年4月1日から過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたことから、新たに策定を進めておりましたまんのう町過疎地域持続的発展計画について、本定例会に議案を上程いたしております。

次に、農業関係についてでございます。

まんのう町が取り組んでおりますひまわりプロジェクトに関しては、今年度は約17ヘクタールの農地に作付が行われました。作付補助に関しては、6月上旬にひまわり振興協議会で適切に管理ができていないか確認を行い、管理不十分な栽培者に対しては管理指導を行いました。今年度は刈取り直前の8月に上陸した台風9号の暴風の影響を受け、当初の計画よりヒマワリ種子の収穫量が落ちると予測されますが、品質に関しては問題なく、良質の種子が収穫できると思われまます。

次に、地域振興関係についてでございます。

ヒマワリが6月下旬から町内のあちらこちらで開花を始め、7月末までの期間に町内外から多くの方が観賞されました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ひまわりまつりは2年連続の中止となりました。

また、「日本で最も美しい村」連合への加盟に向けて申請をした結果、7月2日のウェブ総会において承認を得て、加盟することになりました。地域に根づいた暮らしの営みにより育まれ、多くの人々の手で大切に守られてきた景観や文化など、地域資源を活用し、観光や特産品の販売拡大等、地域が活性化することにより、原風景などを未来につなげてまいりたいと思います。

次に、商工関係についてでございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少している町内事業者を支援するため、プレミアム40%つきの商品券を発行いたしました。計画どおりの申込数であったため、抽選をすることなく、申込者全員に7月31日から8月2日の3日間で約2億7,800万円の商品券を販売することができました。使用期限は翌年の1月末までの6か月間となっておりますので、早めに使用していただきますようお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、外出機会が減少したことにより、大きな影響を受けた飲食事業者や関連事業者等の営業継続を支援するため、香川県営業継続応援金（第1次）の支給を受けた事業者に対して、まんのう町営業継続応援事業として、香川県の支給額の2分の1を支給いたします。7月5日から申請受付を行っておりますが、申請受付が9月30日までとなっておりますので、対象になれる方は早めに申請をしていただければと思います。

次に、健康増進関係についてでございます。

予防接種事業では、令和元年度から実施されております緊急風しん抗体検査事業の最終年度となります。対象者にはクーポン券を発行しておりますので、早めに抗体検査を受け、

抗体の低い場合は、風疹の感染拡大防止のため予防接種を受けていただきますようお願いいたします。

次に、教育関係についてでございます。

昨年度、時期や行き先を変更して、全小中学校で実施することができました修学旅行は、本年度におきましても、時期や行き先を変更しなければならない状況になっております。感染拡大防止集中対策期への移行を受けて、8月3日より8月31日の間、宿泊を伴う活動を中止するよう県から要請がありました。そのため、夏休み後半の8月27日から予定しておりました中学校の修学旅行を10月に延期して実施するよう検討いたしております。

また、各小学校におきましても、学習内容との関連から、行き先を京阪神として計画しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、再度、検討しているところでございます。

いずれにいたしましても、児童生徒の安全・安心が最優先であります。学校と教育委員会の連携を強化して慎重に進めてまいります。

次に、中学生の部活動についてでございます。

昨年の総合体育大会は、郡市の大会をはじめとして、香川県大会、四国大会、全国大会のいずれもが中止となりました。本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症対策を完全にして開催されました。

郡市大会におきましては、ほとんどの競技におきまして、優勝または準優勝の成績を収めて県大会に臨みました。

県大会におきましては、ソフトボール部と女子バレー部が第3位となり、ソフトテニス女子ダブルスで矢野・西山組が優勝し、四国大会に出場しました。また、男子剣道部が優勝し、四国大会と神奈川県で行われた全国大会に出場いたしました。

全国中学生なぎなた大会におきましては、団体の部で第3位、個人の部で宮本さんが見事2位となりました。

次に、運動会につきましては、感染症対策をした上で、午前中の短時間での実施や、競技や演技のプログラムの構成を考えた上で、低学年や高学年単位で保護者を入れ替えての実施、ユーチューブでのライブ配信など、各学校におきまして工夫をして実施いたしました。

次に、学校施設関係についてでございます。

まず、満濃南こども園の統合施設につきましては、6月議会で契約の御承認をいただき、鋭意建設を進めているところでございます。工事につきましては順調に進んでおります。来年6月には竣工し、秋には施設の供用開始を迎えたいと考えております。

琴南小学校の大規模修繕工事につきましては、本年度の工事範囲であります室内の工事につきましては夏休み中に完了しており、今後におきましては外壁などの工事を行い、11月中旬に竣工する予定でございます。

次に、新型コロナウイルスの感染防止の一つとして取り組んでおりますトイレの手洗い

水栓の自動化につきましては、小学校、こども園ともに夏休み中に工事を終え、2学期から利用ができるようになっております。

次に、生涯学習関係についてでございます。

毎年2月に開催しております森のコンサートと楽しい音楽会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に引き続き中止が決定しております。

昨年度、全館で中止となりました公民館まつりにつきましても、本年度も感染拡大防止のため、7公民館のうち5館が中止、2館が規模を縮小して実施の予定です。中止の5館につきましては、期間を定めて同好会の作品展示などを実施する予定でございます。

20歳の門出を祝う成人式につきましては、来年1月9日に実施を予定しており、開催に向けて準備を進めております。

高校生スポーツ最大の大会として開催されております全国高等学校総合体育大会は、来年度は四国4県で実施され、香川県では9競技10種目が行われ、まんのう町では登山大会が実施されます。大会に向けて、8月6日に令和4年度全国高等学校総合体育大会登山大会まんのう町実行委員会設立総会・第1回総会が開催され、委員の委嘱や開催方針、事業計画等が承認されました。今後は、大会の円滑な開催に向け、関係機関などと連携を図りながら大会準備を進めてまいります。

次に、支所関係についてでございます。

琴南地区において、令和元年度より着手しております琴南総合センター新築事業につきましては、建物本体工事は本年3月に完了しておりますが、現在、周辺駐車場舗装工事及び隣接する消防団第4分団車庫棟建設工事を実施しております。9月末にはこれらの工事は完了し、また、館内につきましても、美合出張所、美合内科診療所、併設する消防団第4分団屯所の備品搬入、機器の移設等が完了しますので、施設の開所につきましては10月からとしております。美合出張所は10月4日月曜日、美合診療所は10月5日火曜日より業務を開始する予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、既存施設の解体工事及び施設解体後の敷地の駐車場整備並びに進入路等の周辺整備工事を引き続き行っていく計画でございます。

次に、毎年9月に開催しておりました仲南地区の伝統行事であります仲南地区町民バレーボール大会につきましては、今年は節目の第60回目を迎える予定でありましたが、新型コロナウイルス感染防止対策が十分に取れないことから、昨年に引き続き、中止を余儀なくされております。

以上、簡単ではございますが、6月定例議会以降の町政の一端を御報告いたしました。

なお、各課の町政報告につきましては、お手元に御配付させていただいておりますので、お目通しをお願いいたします。以上でございます。

○大西樹議長 町政報告を終わります。

ここで、休憩を取ります。議場の時計で10時40分までお願いいたします。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時40分

○大西樹議長 休憩を戻して、会議を再開いたします。

日程第5 所管事務調査の委員長報告（教育民生常任委員長）

○大西樹議長 日程第5、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

教育民生常任委員会の所管事務調査について委員長の報告を求めます。

教育民生常任委員長、川西米希子君。

○川西米希子教育民生常任委員長 教育民生常任委員会委員長報告を行います。

去る8月31日、午前9時30分より、全員協議会室におきまして、委員全員出席し、議長同席の下、町長、副町長、教育長、総務課長、所管課長全員出席により、教育民生常任委員会を開催いたしました。

議題は、所管事務調査、その他についてであります。

最初に、満濃南こども園の建設現場の視察を行い、その後に各課より報告を受けました。

初めに、琴南支所より、内科診療所の診療状況、歯科診療所の診療状況、琴南総合センター、美合出張所、美合診療所の業務開始についての報告がありました。

5月より新型コロナウイルスワクチン接種が内科診療所でも行われていること、それらを含めない内科診療所の受診者数の延べ人数、受診件数共に昨年の同時期と同等程度であること、かねてより建設中であった琴南総合センターの落成式が令和3年10月1日の予定であること、それに伴う美合出張所の業務開始が10月4日、美合診療所の診療開始日が10月5日であることの説明がありました。

委員より、以前に造田診療所において、保存用冷凍庫の電源が切れたことによる新型コロナウイルスワクチンの廃棄が起こったが、美合診療所での対策はどの質疑があり、執行部より、新しい美合診療所にも停電時用に蓄電池と発電機を備える。なお、美合診療所においては配送の日程を調整し、職員が勤務しない土・日曜日はワクチンを保管しないようにするとの答弁がありました。

次に、住民生活課より、主要行事、戸籍住基関係、環境衛生関係について報告がありました。

委員より、最近、本庁舎の敷地内に不法投棄が見られる。先日は建物の周辺にくぎがまかれていたと聞いている。警察には被害届を提出しているのか。監視カメラの設置が必要ではないかとの質疑があり、執行部より、警察に不法投棄の被害届は提出している。くぎについては故意かどうかの判断ができなかったため、今回は提出していない。次に同じことがあれば、そのときは提出する。監視カメラの設置については検討中であるとの答弁がありました。

委員より、地球温暖化対策に向けたゼロカーボンシティ宣言についてどのように検討したのかとの質疑があり、執行部より、町単独での宣言が必要かどうか、宣言することのメ

リットとデメリットなどを検討した。結論としては、宣言をしなくても取り組めることに取り組んでいきたい。具体的には、2022年以降も町の地球温暖化対策実行計画を継続していく。第3次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンの一員として環境問題に取り組んでいく。今後、緑のカーテン育成講習会や住民意識の熟成を図るためのパネル展などの取組を行うことも考えているとの答弁がありました。

次に、福祉保健課より、行事等の報告、特別給付金の実施状況、高齢者の推移と社会保険の展望について報告がありました。本年度の戦没者合同追悼式を11月下旬に開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、今年度は中止することとなった。高齢者の推移と社会保険の展望では、介護保険給付費の削減に向けて独り世帯が増えていることや、施設介護サービス利用が給付費支払額を大きく引き上げている課題に対して、介護認定の適正化、ケアプランの適正化、介護保険施設のサービス適正化、自立支援事業の展開が必要であり、高齢者の買物事情は特に重要であると考えているとの説明がありました。

委員より、今年の4月から開始の高齢者の保険事業と介護予防の一体的な事業の展開はどのようになっているのかとの質疑があり、執行部より、香川県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、専任の保健師が高齢者の特性を踏まえたフレイル対策などの介護予防と疾病予防を行う事業である。システム分析を行い、出前講座等のプランは立てたが、コロナ禍のため、まだ実施には至っていないとの答弁がありました。

次に、健康増進課より、事業等報告、中讃圏域健康生きがい中核事業、温泉バス利用実績、子育て支援サービス事業実績、新型コロナワクチン接種について報告がありました。

委員より、新型コロナワクチン接種を受けたいが、まだ受けていない高齢者はいないかとの質疑があり、執行部より、9月号広報と同時配布している案内チラシで今後の接種や予約等に関して周知し、民生委員の地区部会等に出席し、情報共有していただくなど、独り暮らし等の高齢者のワクチン接種への協力をお願いしているとの答弁がありました。

委員より、新型コロナワクチンに関するデマ情報に惑わされて接種を受けていない人もいるのではないかとの質疑があり、執行部より、デマに関しては国や県からも情報発信がされている。町としてはワクチン接種に関しての不安を持つ方からの電話相談に応じている。また、子供の健診時などでも接種に関する不安に答えているとの答弁がありました。

委員より、外国籍の方にも接種券は届いているのかとの質疑があり、執行部より、接種券を作成する時点で住民登録している方には発送している。既に接種している方も見受けられるとの答弁がありました。

委員より、アメリカでは既に3回目のワクチン接種が行われている。日本は遅れているのではないかと。早めの対応が必要だと思う。3回目のワクチン接種についても早めの対応を行うよう、国に声を届けていく必要があるのではないかと。新型コロナウイルスワクチン接種を2回受けていても、一定期間を過ぎると抗体量は低下していく。町として感染を防ぐための抗体が十分量あるかどうかの中和抗体検査がどこで受けられるのか等の情報提供

を行うことも必要ではないかとの意見がありました。

次に、学校教育課より、行事報告、園児・児童・生徒数、満濃南こども園統合施設、放課後児童クラブ運営業務委託、給付型奨学金制度、小学校・こども園トイレ水栓自動化について報告がありました。

小中学校の修学旅行については、新型コロナウイルス感染拡大のため、現時点では全ての小中学校において10月中旬以降の実施に延期とし、行き先も広島や県内に変更している。

現場視察を行った満濃南こども園建設工事において、掘削土での埋戻しを予定していたが、土質が悪いため、残土処分と埋戻し土の購入が発生し、契約変更の可能性があるとの説明がありました。

また、ウイルス感染予防を目的とした小学校・こども園のトイレ水栓自動化工事はほぼ完了したとの説明がありました。

委員より、本町のこども園では、子供たちのマスク着用に関してどのように対応しているのかとの質疑があり、執行部より、本町のこども園においては、3歳未満児についてはマスク着用は難しいと考えている。3歳以上児についてはマスクを着用するよう指導をしているが、運動時には、国からの指針にもあるように、体へのリスクも考えて、マスクの着用はせず、外すように指導しているとの答弁がありました。

委員より、教職員の新型コロナウイルスワクチン接種は進んでいるのかとの質疑があり、執行部より、正確な接種者数は現在確認中であるが、8月から実施された県の集団接種は教職員も対象であり、また、本町のワクチンいつでもどこでも接種登録票に登録した教職員も150名を超えていたが、ほぼ全員が現在2回接種を終えている。かなりの割合で学校教職員やこども園の職員が接種を終えていると考えているとの答弁がありました。

委員より、夏休み中の放課後児童クラブはお弁当を持参しなければいけない。保護者よりこども園で作ってもらうことはできないかとの声があるとの質疑があり、執行部より、放課後児童クラブは子供たちを預かるだけの施設である。こども園の調理場はあくまでも学校給食の調理場であるため、現時点では難しいとの答弁がありました。

委員より、放課後児童クラブの運営がシダックスに委託されることについて保護者に説明しているのかとの質疑があり、執行部より、保護者への直接の説明はコロナ禍でもあるためできていない。今後、できるだけ早い時期に委託先のシダックスと相談して、文書にて保護者にお知らせしたいとの答弁がありました。

次に、生涯学習課より、主要行事報告、町立図書館利用状況、スポーツセンターまんのう利用状況、新型コロナウイルスに伴う施設等の対応状況等について報告がありました。

委員より、2022年の全国高校総合体育大会はどうなるのかとの質疑があり、執行部より、2022年8月5日から5日間開催される予定である。昨日、ポスターの選定委員会があり、ポスターが決定したところであるとの答弁がありました。

以上、所管事務調査を行い、午後2時40分に委員会を閉会いたしました。

以上で、教育民生常任委員会の委員長報告を終わります。

○大西樹議長 これをもって、教育民生常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第6 所管事務調査の委員長報告（建設経済常任委員長）

○大西樹議長 日程第6、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

建設経済常任委員会の所管事務調査について委員長の報告を求めます。

建設経済常任委員長、川原茂行君。

○川原茂行建設経済常任委員長 建設経済常任委員会の委員長報告を行います。

去る8月30日、午前9時30分より、全員協議会室におきまして、委員全員出席し、議長同席の下、町長、副町長、総務課長、所管課長全員出席により、建設経済常任委員会を開催いたしました。

議題は、所管事務調査について、その他であります。

初めに、地籍調査課より、令和3年度調査地区と令和元年度調査地区香川県知事認証の筆数や面積、調査地区地元説明会の開催状況等の報告がありました。

委員より、地籍調査をする際、筆界未定をつくらぬような努力をするよう意見があり、執行部より、土地所有者間での十分な話し合いをするようお願いし、できるだけ筆界未定とならないように努めたいとの答弁がありました。

次に、農林課より、農業委員会定例会等の開催状況、農林振興関係の行事報告のほか、まんのう町でナラ枯れが発生しているとの報告がありました。

委員より、ナラ枯れの近隣市町への被害警戒区域は記されているが、他の市町からまんのう町へ原因となるカシノナガキクイムシが入ってくることはないのかとの質疑があり、執行部より、今、被害が確認されているのが小豆島町と東かがわ市であるが、虫の移動範囲が限られているため、入ってこない。カシノナガキクイムシはそもそもどこの山にもいる。10年ぐらい若い木は虫が入っても、活力があるため、虫と共存していくが、樹齢が30年から40年の高齢木は活力が落ちているため、枯れることがある。町内の被害が発生している地区内で、今、駆除をすれば他の山にも広がらないと県から指摘を受けているため、早急に対応したいとの答弁がありました。

委員より、民有林で被害が発生した場合、どうしたらいいのかとの質疑があり、執行部より、民有林の場合、木の所有者から駆除の要望があれば、町が補助の申請をすることになるとの答弁がありました。

委員より、町内のナラがどこに分布しているかを把握しているのかとの質疑があり、執行部より、防除対策を県と連携しており、県が人工衛星で撮影した写真データを使って、

枯れている場所の特定はできるとの答弁がありました。

委員より、年間どれくらい防除する計画かとの質疑があり、執行部より、西部森林組合に相談する予定である。樹齢が30年を超える木は大きいため、切り倒すのは難しいが、立ったまま防除するのであれば、100本から150本は可能でないかと考えているとの答弁がありました。

次に、委員より、人・農地プランについて質疑があり、執行部より、町内を旧琴南ブロック、旧仲南ブロック、長炭ブロック、吉野ブロック、神野・岸上ブロック、四条ブロック、高篠・羽間ブロックの七つのブロックに分け、それぞれの地域で課題を出してもらっているとの答弁がありました。

次に、建設土地改良課より、土地改良事業関係の進捗状況、主なため池の貯水状況、林道・公共土木・都市計画、下水道・農業集落排水事業関係などの報告がありました。また、区域外道路の路線認定について説明がありました。

委員より、県営中山間事業が多いが、計画どおり進んでいるかとの質疑があり、執行部より、予算の関係でスケジュールどおりにならないこともあるが、基本的には計画どおりの進捗である。県営事業は地元負担を少なくできるため、町単独で実施するよりも有利であるとの答弁がありました。

次に、地域振興課より、地域おこし協力隊の各隊員の活動状況、ヒマワリ推進事業では、6月下旬から7月下旬でヒマワリ鑑賞者数が約3万人、ひまわりオイルの販売実績は、コロナ禍であり、観光客も少ないため、計画より少ない状況である。若者住宅取得補助金は交付申請件数が7月末時点で23件、また、ふるさと納税の推移について報告がありました。

琴南地域活性化センター事業では、6月から3階にて自然史博物館が開館、次に、商工事業で商品券プレミアム40%つきの発行事業では、申込人数が7,550名、申込額が2億8,094万円、販売額が2億7,828万円、計画に対する販売率は99.4%であったとの報告がありました。

また、まんのう町営業継続応援事業、マイナポイント事業、地方創生関係では、日本で最も美しい村連合への加盟が7月2日に承認されたこと、また、まんのうかりんジャムの完成発表会を8月4日に行ったとの説明がありました。

委員より、今回、商品券の販売が好評であったが、次回、商品券プレミアム50%つきをお願いしたいとの意見があり、執行部より、今般の商品券は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と過疎債を充当していましたが、次の計画から過疎債を商品券に充てることができないこともあり、財政等部局と協議しながら今後のことを考えたいとの答弁がありました。

委員より、まんのう町営業継続応援事業の申請件数で申請があった飲食店事業者が9件、食材等を納入している関連事業者が2件で、合わせて11件とのことだが、申請の可能性のある事業者は全体でどれくらいあるのかとの質疑があり、執行部より、事業者数の把握

は難しいが、県へは35件ぐらい申請があったと聞いているとの答弁がありました。

以上、所管事務調査を行い、12時15分に委員会を閉会いたしました。

これで、建設経済常任委員会の委員長報告を終わります。

○大西樹議長 これをもって、建設経済常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第7 所管事務調査の委員長報告（総務常任委員長）

○大西樹議長 日程第7、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

総務常任委員会の所管事務調査について委員長の報告を求めます。

総務常任委員長、三好郁雄君。

○三好郁雄総務常任委員長 総務常任委員会の委員長報告を行います。

去る9月3日、午前9時30分より、全員協議会室におきまして、委員全員出席し、町長、副町長、総務課長、所管課長全員出席により、総務常任委員会を開催いたしました。

議題は、所管事務調査について、その他であります。

初めに、総務課より、5月から8月までの事業報告、町内火災発生状況、救急出動状況、交通事故発生状況、防災出前講習状況等の報告と公職選挙法の一部を改正する法律の概要説明がありました。

委員より、公職選挙法の一部改正について、町村の選挙における公営拡大でウグイス嬢も公費負担の対象になるのかとの質疑があり、執行部より、選挙運動用自動車の運転手は対象であるが、いわゆるウグイス嬢は対象にならないとの説明がありました。

委員より、来年度の町職員採用試験で何名の応募があつて、合格者が何名か。また、採用試験の途中経過をホームページで公開することはできないかとの意見があり、執行部より、新卒の職員採用の募集について、採用予定数は一般行政職が2名程度、保育教諭が2名程度である。7月11日に一般行政職が10名、保育教諭が5名の応募があり、9月12日の2次試験には、一般行政職が6名、保育教諭が5名残っている。また、経験者枠の職員採用の募集について、採用予定数は一般行政職が2名程度、保育教諭が2名程度、管理栄養士が1名程度であり、9月11日に一般行政職で18名、保育教諭で2名、管理栄養士で1名が受験する予定である。採用試験の募集と結果はホームページに掲載している。今後は他市町の事例を参考にしてホームページ内に採用情報コーナーをつくり、その中に記事をまとめ提供したいと考えているとの答弁がありました。

委員より、管理栄養士が必要な職種ということで1名募集しているが、今の自治体はパソコンを使って情報を発信していく力が必要である。情報関係については、ある程度、専門的な知識や技術が必要になってくると思われるが、そういった職種も専門職と位置づけ、

採用してはどうかとの質疑があり、執行部より、今、自治体のデジタル化が進められている中で、今回は情報関係の職員募集はしていないが、今後、デジタル人材を確保しなければならないと考えている。例えば、IT企業から任期付任用職員制度を利用して派遣、もしくは委託することも検討したいとの答弁がありました。

委員より、告知放送で退職した職員の音声が流れているが、本人の許可がなくても放送で流すことができるのかとの質疑があり、執行部より、音声の使用については特に問題はないと考えているが、今後は刷新していきたいと思うとの答弁がありました。

また、委員より、働き方改革関連法で勤務間インターバル制度を導入することが努力義務化されているが、職員が働きやすい環境づくりを目的に検討してはどうかとの意見があり、執行部より、勤務間制度については、職員組合との交渉では職場で制度的に可能かどうか十分に検討したいと回答した。この制度は断続的な労働が不可欠な労働条件が該当すると思われ、昼夜を通して対応するケースとして、例えば災害時の待機等がこれに当たるため、十分検討していきたいとの答弁がありました。

次に、企画政策課より、中讃広域行政組合企画協議会、定住自立圏形成の事業報告、出資法人関係等では、財団法人ことなみ振興公社、有限会社仲南振興公社の令和3年度第1四半期の実績報告、新型コロナウイルスの影響で来客、売上げが減少し、厳しい状況であるとの報告がありました。

また、コミュニティー・自治会関係では、コロナの影響等により町政懇談会は中止、交通対策関係では、あいあいタクシー、福祉タクシーの利用状況報告、情報政策、人権啓発、男女共同参画推進関係の事業報告がありました。

委員より、中讃広域行政事務組合議会で協議を行っているごみ処理場の広域化計画の進捗状況はどうなっているのかとの質疑があり、執行部より、いろいろ検討を重ねている段階で、今の時点では大きな進展はないとの答弁がありました。

次に、税務課より、令和3年度の町民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の調定額、また、町民税の滞納繰越残高の推移状況について報告がありました。

委員より、令和3年度の町民税で納税義務者数9,003人の特別徴収と普通徴収の内訳で昨年との比較を教えてほしいとの質疑があり、執行部より、町民税の徴収に関して、特別徴収は令和2年度の事業者数2,336社で人数6,166名に対して、令和3年度の事業者数2,345社で人数6,138名である。普通徴収は令和2年度の事業者数988社で人数2,498名に対して、令和3年度の事業者数918社で人数2,860名であるとの答弁がありました。

委員より、軽自動車税が他の税目より滞納率が多いが、対策は取っているのかとの質疑があり、執行部より、令和2年度軽自動車税の徴収率は現年分では99.62%だが、滞納繰越分は24.78%となっており、平成27年度から滞納繰越残高もかなり減少してきており、徴収に努めているとの答弁がありました。

次に、会計室より、令和2年度の一般会計、各特別会計の歳入歳出決算について報告が

ありました。

委員より、この期間中に基金で定期を解約したものはないかとの質疑があり、執行部より、債券購入用に1か月定期をしていたが、解約したものはある。それは次の債券購入のために普通預金で保管している。そのほかに解約したものはないと答弁がありました。

次に、琴南支所より、事業報告、琴南農改センター、琴南総合センターの利用実績、窓口受付件数について報告がありました。また、琴南総合センター落成式が10月1日で業務開始は10月4日、美合出張所の新しい場所での業務開始は10月4日、美合診療所の新しい場所での業務開始が10月5日であるとの報告がありました。

委員より、造田郵便局と美合郵便局が単独であるが、統廃合の話は出ているのかとの質疑があり、執行部より、今のところ郵便局の統廃合の話は聞いていないとの答弁がありました。

次に、仲南支所より、事業報告、町マイクロバス運行実績の報告がありました。また、仲南地区町民バレーボール大会と忠八祭りの実施については、関係者と協議した結果、コロナ感染予防対策が十分取れないことから中止となった。二宮忠八飛行神社大祭は規模を縮小し、参列者数人で神事のみ実施するとの報告がありました。

以上、所管事務調査を行い、午前11時25分に委員会を閉会しました。

以上で、総務常任委員会の委員長報告を終わります。

○大西樹議長 これをもって、総務常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第8 報告第1号 専決処分の報告について（まんのう町個人情報保護条例の一部改正について）

○大西樹議長 日程第8、報告第1号 専決処分の報告について（まんのう町個人情報保護条例の一部改正について）の件を議題といたします。

提出者に報告内容の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、報告第1号 専決処分の報告について（まんのう町個人情報保護条例の一部を改正する条例について）御説明申し上げます。

この専決処分は、デジタル改革関連法の一部として、デジタル庁設置法及びデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が令和3年5月に公布され、それにより、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正され、令和3年9月1日より施行されました。

これに伴い、まんのう町個人情報保護条例に影響のある条項ずれ等の一部改正を地方自

治法第180条第1項の規定に基づき専決処分にて行いましたので、同条2項の規定により報告するものでございます。よろしくお願いいたします。

○大西樹議長　これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長　質疑なしと認めます。質疑を終了します。

これをもって、本件は報告済みといたします。

日程第9 報告第2号 専決処分の報告について（まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について）

○大西樹議長　日程第9、報告第2号 専決処分の報告について（まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について）の件を議題といたします。

提出者に報告内容の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長　ただいま上程されました、報告第2号 専決処分の報告について（まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について）御説明申し上げます。

この専決処分は、デジタル改革関連法の一部として、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が令和3年5月に公布されました。それにより、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正され、令和3年9月1日より施行されました。

これに伴い、まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例に条項ずれの一部改正を地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分にて行いましたので、同条2項の規定により報告するものでございます。よろしくお願いいたします。

○大西樹議長　これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長　質疑なしと認めます。質疑を終了いたします。

これをもって、本件は報告済みといたします。

日程第10 報告第3号 専決処分の報告について（まんのう町手数料条例の一部改正について）

○大西樹議長　日程第10、報告第3号 専決処分の報告について（まんのう町手数料条例の一部改正について）の件を議題といたします。

提出者に報告内容の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長　ただいま上程されました、報告第3号 専決処分の報告について（まんのう町手数料条例の一部改正について）の件を議題といたします。

のう町手数料条例の一部改正について) 御説明申し上げます。

この専決処分は、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律等が本年5月に公布されたことにより、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正され、本年9月1日より施行されました。

これに伴い、まんのう町手数料条例の一部改正を地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分にて行いましたので、同条2項の規定により報告するものでございます。

改正内容につきましては、住民生活課長に説明させますので、よろしくお願いたします。

○大西樹議長 住民生活課長、山本貴文君。

○山本住民生活課長 本件、報告第3号 専決処分の報告につきまして御説明申し上げます。

本条例改正につきましては、ただいま町長より説明がありましたとおり、一部改正された行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が令和3年9月1日をもって施行されたことに伴うまんのう町手数料条例の一部改正を専決処分により行ったものです。

お手元の新旧対照表を御覧ください。

改正箇所は、同条例第2条の別表中「個人番号カードの再交付1件につき800円」の文言を削除するものです。これにつきましては、これまで再交付を受ける住民の方から1,000円を徴収し、そのうち800円が手数料として町の一般会計に入り、残りの200円が地方公共団体情報システム機構に入るようになっておりましたが、さきに説明しましたとおり、9月1日からの法改正に伴い、徴収しました1,000円がそのまま地方公共団体情報システム機構に入るようになったことに併せて改正したものです。

ちなみに、これまでの再交付の実績ですが、令和元年度が5件、2年度が20件となっております。

また、この再交付の件数についての今後の見通しですが、令和2年度が20件となっておりますが、本年度は7月末までの4か月間で3件となっておりますことから、年間で令和2年度の20件を超えることはあまりないと見ております。よろしくお願いたします。

○大西樹議長 これより、質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。質疑を終了いたします。

これをもって、本件は報告済みといたします。

日程第11 報告第4号 令和2年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率について

○大西樹議長 日程第11、報告第4号 令和2年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率についての件を議題といたします。

提出者に報告内容の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、報告第4号の令和2年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率について、その提案理由を申し上げます。

健全化判断比率及び資金不足比率は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告するものでございます。

2ページ目を御覧ください。

健全化判断比率についてであります。上段の表のとおりとなっております。実質赤字比率、連結実質赤字比率は昨年度と同様に該当ありませんでした。実質公債費比率は昨年度から0.4ポイント増の8.3%となりました。将来負担比率においては昨年度と同様に該当ありませんでした。よって、全ての指標で基準を下回っており、2年度も健全な結果となりました。

次に、資金不足比率についてであります。下段の表のとおりとなっております。こちらの指標も昨年度と同様に全ての公営企業会計において資金不足はない結果となっており、良好な結果となりました。

なお、令和2年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率について、8月2日に監査に付しており、その意見書を添付しておりますので、御確認ください。

以上、報告をいたします。よろしく願いいたします。

○大西樹議長 これより、質疑に入ります。質疑はありますか。

5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 地方公共団体の財政健全化判断比率及び資金不足比率、全く問題のない数値で非常に結構なことだと思います。ただし、ちょっとお伺いしておきたいのは、この数字が出ているのは実質公債費比率だけですね。これは合併したときに15.8ありましたね。そして下がって、8.6まで毎年下がってきて、PFIの償還が始まったときに0.6上がりましたね。PFIの財政負担は皆さん緊張して、紛糾しながら債務負担行為の議決しましたね。しかし、0.9上がっただけで事なきを得た。その翌年はまた0.8下がったわけで、2年たったらほぼ元どおりになったと。それからまた下がり続けて、平成28年に7.0、平成29年に7.0になりました。そして平成30年に0.2上がって7.2になり、平成31年（令和元年）に7.9になったと。そして令和2年度は8.3と、こういうことで、ちょっと2年続けて上がったわけですね。方向がちょっと変わったと。極めて安全な水準でありますけれども、町長はこれほどの程度だったら安全と考えるのか、ここからは気つけないかなと考える位置の目安、これを執行部と我々が合意できたら、安心して運用できる。まだまだ余裕たっぷり大丈夫だと私は見るんですけど、数字で論議せないかん。財政論を将来負担を伸ばすばかりかといって、不安感だけで論議するのはよかったですけども、この指標で論議したい。これぐらいまではやっても

ええと思つとる、これぐらいは気つけたい、ブレーキかけるぞとか、これぐらいになったら借入れやめるんやというめどをお伺いしておきたい。以上、よろしく申し上げます。

○大西樹議長 総務課長、萩岡一志君。

○萩岡総務課長 竹林議員の質問にお答えします。

実質公債費比率でございますけども、これはいろんな要因がございますして、この算出方法に算入平均を取ってということがありますし、今回の上がった原因というのは、いろんな要因がございますけれども、中にやはり合併特例債等の償還金が増えたというのが主な要因かと思えます。

本町といたしまして、この実質公債費比率がどれぐらいのパーセントであれば安泰かということでございますけども、財政のほうといたしましては、中長期の関係もありまして、大体9%までかなと。10%を超えない程度で推移すればいいのかなと思っております。以上でございます。

○大西樹議長 5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 総務課長の答弁は、課長ですから非常に慎重に9ぐらい、10を超えたらいかんぐらいのことを言いましたね。私は17点幾つぐらいを経験していて、この地方財政健全化判断比率は早期健全化基準では25までは大丈夫というのが総務省基準で、25というのは、途方もなく我々から見たら高いですよ。財政再生基準やったら30やいうて、これはちょっと高過ぎる、総務省の基準は高過ぎるなという感じがします。3年ぐらい借るんやめたらぐっと下がりますね。合併特例債も過疎債もみんな償還年限が10年ですから、あつという間に上がっても、あつという間に下がりますよ。PFIやっただって、0.9上がっただけです。私は十二、三ぐらいまでええんちゃうか、15は超えんぐらいにして、18やったら県と相談せないかんぐらいになるから、18はやめたほうがいい。手前の15ぐらいまでいけるぞとか、十二、三やったら何ちゃ心配ないがと思えます。しかし、私だけの意見ではいかなので、私が申し上げて、皆さんでどのあたりの数字やっただらという大体のコンセンサスが要るように思えます。

百二十何億円も借りとるいうたつて、臨時財政対策債100%元利償還のやつと、合併特例債と過疎債が圧倒的で、極めて上手な財政運営をしてくれとると思えます。

そこで、所管の課長さん方をお願いしたい。うちはまだ当分大丈夫なんで、各省庁が政策メニューの予算持ってます。特定財源、補助金とか交付金とか、それを積極的にぱくつとってほしいんですね。裏財源の一般財源投入ぐらいうちはこたえへんです。

農林課長には、この間、説明求めましたけれども、農水省は99政策メニューを持つとるね。これをやっぱり職員たちと検討して、ブロッコリーをよその産地に勝つには、うちが裏で何か手打ちええがと思つたり、ヒマワリには手厚く打ちよるけども、農振計画の特定作物にとか、例えばですよ、ほかのところもある、健康増進課長も腕振るうたらええ。堂々として大らかな課長さんで実に頼もしい。そういうことであります。

特定財源を積極的に調達して、我が町に執行する予算額を増やせば増やすほど、町民経

済は伸長するわけです。この実質公債費比率を見てれば、危ないところは分かります。

議長、意見の進言をしておきたい。決算のところでもやる以外に、建設経済常任委員会だったと言う機会がないんですね。課長方、頼みませ。うちはやれるで。みんなで頑張りましょう。よろしく願い申し上げます。

○大西樹議長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑を終了いたします。

これをもって、本件は報告済みといたします。

ここで、休憩を取りたいと思います。議場の時計で1時まで休憩といたします。

休憩 午前 1 1 時 3 5 分

再開 午後 1 時 0 0 分

○大西樹議長 休憩を戻して、会議を再開いたします。

日程第 1 2 認定第 1 号 令和 2 年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 3 認定第 2 号 令和 2 年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 4 認定第 3 号 令和 2 年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 5 認定第 4 号 令和 2 年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 6 認定第 5 号 令和 2 年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 7 認定第 6 号 令和 2 年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について

日程第 1 8 認定第 7 号 令和 2 年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について

○大西樹議長 日程第 1 2、認定第 1 号 令和 2 年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 3、認定第 2 号 令和 2 年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 4、認定第 3 号 令和 2 年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 5、認定第 4 号 令和 2 年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 6、認定第 5 号 令和 2 年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 7、認定第 6 号 令和 2 年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について、日程第 1 8、認定第 7 号 令和 2 年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について、以上の認定第 1 号から認定第 7 号までの 7 案件について、会議規則第 3 7 条の規定により一括議題

といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。認定第1号から認定第7号までを一括議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、認定第1号 令和2年度まんのう町一般会計歳入歳出決算認定について、認定第2号 令和2年度まんのう町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、認定第3号 令和2年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、認定第4号 令和2年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、認定第5号 令和2年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算認定について、認定第6号 令和2年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について、認定第7号 令和2年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について、以上、認定7件について概要説明を申し上げます。

一般会計につきましては、歳入決算額が143億7,047万9,565円、歳出決算額が138億2,352万7,909円となったことから、歳入歳出差引残額は5億4,695万1,656円で、翌年度へ繰り越すべき財源の7,975万5,000円を差し引いた翌年度への繰越額は4億6,719万6,656円でございます。このうち、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入金はございません。

また、一般会計における年度末地方債残高は127億3,745万4,000円で、前年度比3億19万6,000円の増となっております。理由といたしましては、令和元年度中の借入額13億8,210万円に対して、令和2年度が3億6,070万円増の17億4,280万円と、借入額が増加したことなどによるものでございます。

特別会計におきましては、起債の償還終了及び地方債発行額の減少により、地方債残高は前年度に比べて9,138万4,000円の減となっております。

認定第1号から認定第7号までは、地方自治法第233条の3の規定により、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものであります。

なお、地方自治法第233条の5の規定により、主要施策の成果報告書を併せて提出しておりますので、お目通しをお願いいたします。

要点説明につきましては、会計管理者より説明を行わせますので、御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○大西樹議長 会計管理者、黒木正人君。

○黒木会計管理者 私からは、ただいま上程されました認定第1号から第7号のうち、町長から御説明いたしました一般会計を除いた特別会計の決算額につきまして御報告申し上げます。

決算書に沿って御説明いたしますので、決算書を御用意ください。

それでは、決算書の207ページをお開きください。

認定第2号 令和2年度まんのう町国民健康保険特別会計のうち、事業勘定の歳入歳出決算でございます。

歳入決算額23億896万322円に対しまして、歳出決算額22億755万7,037円となり、歳入歳出差引残額は1億140万3,285円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、翌年度へ繰越額は1億140万3,285円でございます。なお、決算額の対前年度比は歳入が約4.0%の増、歳出が約7.5%の増となっております。

次に、249ページをお開きください。

令和2年度まんのう町国民健康保険特別会計、直営診療施設勘定のうち、歯科の歳入歳出決算でございます。

歳入決算額407万4,818円に対しまして、歳出決算額は同額の407万4,818円となり、歳入歳出差引残額はゼロ円でございます。よって、翌年度へ繰り越すべき財源及び翌年度へ繰越額共にゼロ円でございます。決算額の対前年度比は歳入、歳出共に約0.1%の増となっております。

次に、263ページをお開きください。

令和2年度まんのう町国民健康保険特別会計、直営診療施設勘定のうち、内科の歳入歳出決算でございます。

歳入決算額6,298万349円に対しまして、歳出決算額は同額の6,298万349円となり、歳入歳出差引残額はゼロ円でございます。よって、翌年度へ繰り越すべき財源及び翌年度へ繰越額共にゼロ円でございます。決算額の対前年度比は歳入、歳出共に約9.2%の増となっております。また、国民健康保険特別会計全体の決算額の対前年度比は歳入が約4.1%の増、歳出が約7.5%の増となっております。

291ページをお開きください。

認定第3号 令和2年度まんのう町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入決算額2億9,848万7,730円に対しまして、歳出決算額2億9,199万4,584円となり、歳入歳出差引残額は649万3,146円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、翌年度へ繰越額は649万3,146円でございます。決算額の対前年度比は歳入が約5.4%の増、歳出が約6.6%の増となっております。

次に、315ページをお開きください。

認定第4号 令和2年度まんのう町介護保険特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入決算額26億4,009万6,964円に対しまして、歳出決算額26億3,603万8,160円となり、歳入歳出差引残額は405万8,804円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、翌年度へ繰越額は405万8,804円でございます。決算額の対前年度比は歳入、歳出共に約0.5%の増となっております。

369ページをお開きください。

認定第5号 令和2年度まんのう町下水道特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入決算額2億1,376万3,014円に対しまして、歳出決算額2億699万4,407円となり、歳入歳出差引残額は676万8,607円でございます。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源が22万7,000円ございますので、これを差し引いた翌年度へ繰越額は654万1,607円でございます。決算額の対前年度比は歳入が約13.3%の増、歳出が約9.8%の増となっております。

395ページをお開きください。

認定第6号 令和2年度まんのう町農業集落排水特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入決算額3,327万7,078円に対しまして、歳出決算額3,209万8,698円となり、歳入歳出差引残額は117万8,380円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、翌年度へ繰越額は117万8,380円でございます。決算額の対前年度比は歳入が約0.4%の減、歳出が約0.2%の減となっております。

最後に、415ページをお開きください。

認定第7号 令和2年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算でございます。

歳入決算額4,417万1,539円に対しまして、歳出決算額は同額の4,417万1,539円となり、歳入歳出差引残額はゼロ円でございます。よって、翌年度へ繰り越すべき財源及び翌年度へ繰越額共にゼロ円でございます。決算額の対前年度比は歳入、歳出共に約6.7%の増となっております。

429ページからは財産に関する調書でございます。

なお、執行内容の詳細につきましては、付託予定であります常任委員会におきまして、各担当課長より御説明申し上げます。

以上、御審議いただき、御認定のほどよろしくお願い申し上げます、御報告とさせていただきます。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

質疑に入る前に、監査委員が議場におられますので、審査の報告をお願いいたします。

田岡秀俊監査委員。

○田岡秀俊監査委員 それでは、私より、認定第1号から第7号の決算審査の報告を申し上げます。

地方自治法第233条第2項の規定により、令和2年度まんのう町一般会計歳入歳出決算及び各特別会計歳入歳出決算の審査を行いましたので、報告いたします。

審査に要しました期間は、定期監査等の監査を含め、7月13日から8月5日までの期間で行い、新名代表監査委員と私とで審査をいたしました。

審査の方法は、主要施策の成果に関する報告書、各会計の歳入歳出決算書、決算事項別明細書、実質収支に関する調書等の関係帳簿等により照合審査を行うとともに、各課に都

度、説明を求め、計数の正確性及び予算執行の適否などを重点に審査をいたしました。

審査の結果は、歳入歳出決算及び書類はいずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数につきましても、関係諸帳簿と照合した結果、正確であることを認めました。

今回の監査を総括して申し上げますと、本町の財政状況は、特別会計も含め有利な財源を活用した比較的安定した運営が行われていると言え、健全化判断比率・資金不足比率等の各指数から判断しても、良好な自治体経営が図られていると言えるが、今後、自主財源・依存財源共に大幅な増加は期待できないことから、自主財源を確保するため、公債権・私債権の収納対策を積極的に推進するとともに、不納欠損処分についても関係法令に従い適正な処理を行い、健全な債権管理をするよう努められたい。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、かつてないほどの予算規模となったが、今現在も終息を見ないコロナ禍により、町民経済の疲弊と町財政の逼迫は今後ますます続いていくと予想されることから、あらゆる歳入確保の手だてを検討し、引き続き経常的な内部経費の削減を行いながら、住民生活の安定と住民福祉の向上になお一層の努力をされたいということを監査委員の意見として上げております。

また、公金横領事件に伴う損害賠償金については、債権回収が可能となった時期から積極的に回収を行っていくよう意見を伝えております。

なお、参考までに、決算審査に併せて地方自治法第241条第5項に基づく基金運用状況審査と地方自治法第199条第4項に基づく定期監査、同条第2項に基づく行政監査、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定による健全化判断比率及び資金不足比率審査を行っており、その結果を議会に提出しております。

報告書はタブレットに入れておりますので、御確認いただければと思います。

以上で、監査の報告を終わります。

○大西樹議長 これをもって、審査の報告を終わります。

これより、認定第1号から認定第7号までの7案件に対する質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 監査委員が決算に対して本会議場で見解を述べられた。素晴らしいことだと思います。町長と議会と監査委員の3者が連携して、地方自治法を適正に執行するという地方自治法の精神が全うされた議会になったのではないかなと感慨深いものがあります。

さて、私は地方財政健全化法の指標のうちに、将来負担率は本町は算出できないというぐらい健全ですね。その算出する対象に中讃広域への分担金、操出金ですね、それから流域下水道へ出すお金、水道事業に出すお金、それから後期高齢者医療の広域連合に出すお金がありますよね。私が調べたところによると、流域下水は30年を超えてきて、大きな

負担が予想される。非常に危機的な状況、危機的というか、まだ問題点としては浮上して
おりませんが、将来負担は考えられる。それがまだ数字として出てないだけです。

それから、水道事業団の今の将来の施工見込みは私は的確にできてるように思えない。
将来の給水人口の減少を見込まない算定になっていて、これが心配されるわけです。

そこで私が求めるのは、タブレットに中讃広域の事業報告と決算書、それから流域下水道
事業の決算書、事業報告書、水道事業の決算書、事業報告書をタブレットにアップして
いただけんかと。一遍にこれについて論議するには、我々はお勉強もせないかんけれども、
我々が分担金、負担金、操出金を出しとる先を掌握せずして、将来負担率の算出はまな
らんとします。町長、これを出していただけるのかどうか。

将来負担率は既に事務方が拾い上げたものだけで出しているからそうなっておりますが、
極めて将来的には懸念すべきところだと思っております。こうした外郭、一部事務組合
とか広域事業団、ここの決算書、事業報告の提出を求めます。町長、いかがでしょうか。

○大西樹議長 町長、栗田隆義君。

○栗田町長 竹林議員さんの御指摘のありました決算書につきましては、タブレット
に載せていきたいと思っておりますし、中讃広域等々につきましても、それぞれ議会の代表の方
が行って、監査の議論はしておるところでありますので、何ら隠すものはありませんので、
提出させていただきたいと思っております。

○大西樹議長 5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 後期高齢者医療連合のも、私、ちょっと言い損ねとるかも分からん
ので、つけ足します。

これはやっぱりちょっとじっくりお勉強せないかんという気がします。議会で出ている
議員さんだけに説明を求めるのも非常に負担が大きくて、やっぱり事務方と一緒に考えて
いかなきゃいかんと思っております。この研究については、執行部と議会が相談し合って、一
遍にいけませんわね、じわっと段階的に参れたらと思うわけでありまして。

主要成果の報告書とか、非常に資料の作り方がすばらしいものになってきて、町長、よ
き配下に恵まれましたね。ますますよい行政ができるものと決算審査を期待しておると
ころであります。以上です。

○大西樹議長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 これをもって、質疑を終了します。

ただいま議題となっております認定第1号は、総務常任委員会に付託いたします。認定
第2号、第3号、第4号、第7号は、教育民生常任委員会に付託いたします。認定第5号、
第6号は、建設経済常任委員会に付託いたします。

**日程第19 議案第1号 まんのう町議会議員及びまんのう町長の選挙における選挙運
動の公費負担に関する条例の制定について**

○大西樹議長 日程第19、議案第1号 まんのう町議会議員及びまんのう町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第1号 まんのう町議会議員及びまんのう町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について御説明申し上げます。

町村の選挙における立候補環境改善を図るため、公職選挙法の一部を改正する法律が令和2年6月に公布され、令和2年12月12日から施行されました。

その主な内容は、町村議会議員選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大、町村議会議員選挙におけるビラ頒布の解禁、町村議会議員選挙における供託金制度の導入でございます。町村議会議員選挙におけるビラ頒布の解禁、上限1,600枚、町村議会議員選挙における供託金制度の導入15万円につきましては、公職選挙法で規定されておりますが、町村議会議員選挙及び町村長選挙における選挙公営の拡大については、各町村の条例を定めることによって選挙公営を公費で実施できることとなっております。選挙公営の対象は選挙運動用自動車の使用、選挙運動用のビラの作成、選挙運動用ポスターの作成に係る費用について、限度額の範囲内の金額を公費で負担することができます。

そこで、本町の選挙における立候補環境改善を図るため、まんのう町議会議員及びまんのう町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を新たに定めるものでございます。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第1号は、総務常任委員会に付託いたします。

日程第20 議案第2号 まんのう町農村環境改善センター条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第20、議案第2号 まんのう町農村環境改善センター条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第2号 まんのう町農村環境改善センター条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

第2条において、改善センターの名称及び位置を規定していますが、まんのう町満濃農

村環境改善センターの位置の字句を誤っておりましたので、字句の修正を行うために一部改正するものです。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りします。

ただいま議題となっております議案第2号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、議案第2号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより、議案第2号 まんのう町農村環境改善センター条例の一部改正についての件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第21 議案第3号 まんのう町役場支所及び出張所設置条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第21、議案第3号 まんのう町役場支所及び出張所設置条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第3号のまんのう町役場支所及び出張所設置条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

本条例の一部改正につきましては、琴南総合センター新築工事が完了し、新たな施設に移転することに伴い、総合センター内の一区画を美合出張所として運用するため、条例第2条に規定する美合出張所の位置を現行の「まんのう町川東1494番地1」から「まんのう町川東1496番地1」に改正するものでございます。

なお、施行期日は令和3年10月1日からといたしております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。
お諮りします。

ただいま議題となっております議案第3号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、議案第3号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。
これより、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより、議案第3号 まんのう町役場支所及び出張所設置条例の一部改正についての件を採決します。本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第22 議案第4号 まんのう町国民健康保険診療所条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第22、議案第4号 まんのう町国民健康保険診療所条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第4号 まんのう町国民健康保険診療所条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

本条例の一部改正につきましては、琴南総合センター新築工事が完了し、新たな施設に移転することに伴い、総合センター内の一区画に新たに設けられた美合診療所にて診療を開始するため、条例第2条に規定するまんのう町国民健康保険美合診療所の位置を、現行の「まんのう町川東1493番地」から「まんのう町川東1496番地1」に改正するものでございます。

なお、施行期日は令和3年10月1日からとしております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りします。

ただいま議題となっております議案第4号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、議案第4号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより、議案第4号 まんのう町国民健康保険診療所条例の一部改正についての件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第23 議案第5号 まんのう町琴南総合センター条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第23、議案第5号 まんのう町琴南総合センター条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第5号のまんのう町琴南総合センター条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

本条例の一部改正につきましては、琴南総合センターの新築工事が完了したことに伴い、新たな施設に移転するため、条例第2条に規定する琴南総合センターの位置を、現行の「まんのう町川東1494番地1」から「まんのう町川東1496番地1」に改正するものでございます。

また、併せて新しい総合センター内の施設の使用時間及び使用料について、町内の公民館、農村環境改善センターを参考に別表のとおり改正するものでございます。

なお、施行期日は令和3年10月1日からとしております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第5号は、総務常任委員会に付託いたします。

日程第 2 4 議案第 6 号 まんのう町奨学金貸与条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第 2 4、議案第 6 号 まんのう町奨学金貸与条例の一部改正についての件を議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第 6 号 まんのう町奨学金貸与条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

昨年 3 月に制定いたしました第 2 次まんのう町教育振興基本計画におきまして、今後 5 年間で取り組む施策の一つとしまして、給付型奨学金の創設など、奨学金制度の在り方を検討することを掲げました。その後、教育委員会におきまして、香川県における貸与した奨学金の返還を免除する制度などを参考に、検討を行ってまいりました。

このたび、来年 4 月から大学等を卒業後、3 年以上継続してまんのう町に居住する方に対し、奨学金の返還を免除する新しい奨学金の制度を創設することといたしました。この制度を開始いたしますことに伴い、まんのう町奨学金貸与条例を改正するものでございます。

内容につきましては、担当課長より説明させますので、御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○大西樹議長 学校教育課長、香川雅孝君。

○香川教育次長兼学校教育課長 議案第 6 号 まんのう町奨学金貸与条例の一部改正について、その内容を御説明いたします。

お手元資料の新旧対照表を御覧ください。

まず、第 1 条でございます。奨学金の貸与につきましては、当然予算の範囲内で行われることとございますが、現行条例にはその記載がなかったことから、「予算の範囲内」との文言を追加するものでございます。

次に、第 1 1 条でございます。今回の改正の目的であります、大学等を卒業後、まんのう町内に 3 年以上居住する方につきまして、奨学金の返還を免除することを第 1 項に規定するものでございます。

第 2 項におきましては、既に奨学金の返済を開始している方を対象に、本町内に 3 年以上居住しておれば、新たに卒業する大学生などと同じように奨学金の返還を免除することを規定しようとしてございます。ただし、その場合におきましては、既に返還している奨学金を除く、まだ返還をしていない奨学金につきまして返還を免除しようとするものでございます。

第 3 項におきましては、返還の免除を受けた者が何らかの理由で町内での居住が 3 年以上という条件を満たさなくなった場合には、奨学金の返還の義務が発生することを規定しようとするものでございます。

最後は、条ずれを是正すべく、改正前に第 1 1 条でありました「委任」につきまして、

第12条に改正するものでございます。

なお、施行日は令和4年4月1日といたしたく、御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 奨学資金の条例、私も現職のとき、一生懸命研究したことがあります。非常に大事なことと思って御期待申し上げるんですけど、問題は滞納ですね。日本育英会が滞納に困っておる。これを立ち上げるときには、よそへ転出されたら、追っかけようがないという問題があります。これをどのように考えておるのか。それから、幾分、滞納で踏み倒されるというのはしようがないぐらいの覚悟も要るのかなど、そんなにも思ったりします。いかがでしょうか。今、考えている範囲で結構です。いい案は日本育英会も持ってない。以上です。

○大西樹議長 学校教育課長、香川雅孝君。

○香川教育次長兼学校教育課長 ただいまの竹林議員の御質問でございますが、滞納についてでございます。現在、本町の奨学金を借りた方で、返還をしている方が19人おいでます。ただ、その中で滞納している方は一人もございませんので、それを御報告して答弁に代えさせていただきます。

○大西樹議長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第6号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第25 議案第7号 まんのう町町民体育館条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第25、議案第7号 まんのう町町民体育館条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第7号 まんのう町町民体育館条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

今回の改正は、琴南中学校が廃校となっておりますことから、学校施設であった旧琴南中学校体育館を町民体育館に変更し、別表第1に、名称、琴南体育館、位置、まんのう町中通838番地として加えるものでございます。また、使用料につきましては、同等規模の体育館である仲南東体育館、仲南西体育館、仲南北体育館の使用料と同額とし、別表第2に加えるものでございます。

施行期日は令和3年10月1日からとしております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第7号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第26 議案第8号 まんのう町学校施設使用料条例の一部改正について

○大西樹議長 日程第26、議案第8号 まんのう町学校施設使用料条例の一部改正についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第8号 まんのう町学校施設使用料条例の一部改正について、その提案理由を申し上げます。

今回の改正は、現在、避難所環境整備として空調整備工事を実施しております町内6小学校体育館につきまして、一般開放で使用される場合の冷暖房使用料を改正後の別表のとおり1時間当たり2,000円として定めるものであります。併せて学校施設から町民体育館に改正する条例を上程しております琴南中学校を別表から除くものでございます。

冷暖房の使用料につきましては、既に使用料が定められておりますスポーツセンターまんのうでは、1時間当たりメインアリーナが3,000円、サブアリーナが1,500円となっております。6小学校体育館における冷暖房の1時間当たりの費用を試算しましたところ、約2,000円から3,000円となったこと、また、面積的にも小学校の体育館はメインアリーナ、サブアリーナの間であることから、1時間当たり2,000円とすることといたしました。

なお、施行期日は令和3年10月1日からとしております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第8号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第27 議案第9号 まんのう町過疎地域持続的発展計画の策定について

○大西樹議長 日程第27、議案第9号 まんのう町過疎地域持続的発展計画の策定についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第9号 まんのう町過疎地域持続的発展計画の策定について、その提案理由を説明申し上げます。

本町では平成28年度から令和2年度を計画期間とするまんのう町過疎地域自立促進計画に基づき、財政上の特別措置を活用しながら諸施策を実施してきたところでございます。

今回、現行の過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月31日をもって失効となり、4月1日より新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されました。引き続き、同法に基づく過疎地域の持続的発展のための地方債の特別措置等を活用するため、令和3年度から令和7年度の5年間を期間とするまんのう町過疎地域持続的発展計画を策定することについて、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

この計画には、香川県が定める過疎地域持続的発展方針に基づき、地域の持続的発展の基本的な方針のほか、産業の振興や生活環境の整備に関する事項など、12の分野における事業計画を記載しております。

また、過疎対策事業債を財源とする事業につきましては、計画への位置づけが必須となっておりますので、事業計画の策定に当たりましては、過疎法の目的に合致すると思われる事業を掲載しております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 過疎地域持続的発展計画、職員が作成して、コンサルに頼まないでつくって、非常に立派な労作と敬服申し上げます。これをやった職員は統計数値が頭に入りますから、あとどの部署へ行っても、いろんな見通しが立てられる、幹部になれる職員になるだろうと思います。その意味で評価したい。

この話があったときに、早速に過疎債を起こさないかんで、早急に9月議会で承認願う見通しでやりたいと、そういうことだったですね。十分に論議できてないというところは、後で会計をするのかどうか、これを確認しておきたいです。

今回の策定は議会に説明するより先に県の承認を得ておりましたから、ちょっと意見の申し上げようがなかったということでもあります。私は合併特例債が終わったら、この過疎法の使い方一つで我が町の運命は決まるなど、そんなに思って、非常に大きな期待をかけております。総合地域振興法でありまして、あらゆる分野で過疎債を起こす財政部門だけ

考えたらいいんじゃない、所管課みんなが過疎法の中身を熟知して、この活用を考えるべきだと思います。町長、早急に必要があれば見直す予定があるのかどうか、これをお伺いします。

○大西樹議長 企画政策課長、松浦正吾君。

○松浦企画政策課長 竹林議員さんの御質問にお答えいたします。

過疎計画、令和3年度から令和7年度までの5年を計画期間として事業を実施していくこととなりますが、当然、事業を進めていく中で、新たな課題等が発生した場合には、事業の追加であったり、今現在の個々の事業について見直しを図るなどしまして、計画の変更ということを考えていきたいというふうには考えております。

○大西樹議長 5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 幾つも統計資料、分析されておりますけれども、やっぱり農産品の振興と流通、それから経済センサスの分析、これが載ると、しっかりいい内容になるんじゃないかなと思います。

それから、人口のところは将来予測入れてますけど、あとは過去の実績の経過だけで、計画ですから、将来こうなる、だからこうするで、当たろうが当たるまいが見込みというか、予測値を出す必要がありますね。福祉保険課長なんかは予測値の試算出したりして、卓越した手腕を見せてくれておりますけれども、計画でありますから、予測値を載せる改定を期待したい。

特に産業系、経済センサスの分析と農業振興に関わるところを重点的にやっていただきたいのと、土地利用のところ、そこをやっていただきたいなという気がします。

そして、加えて言うならば、表でありますけれども、今、課長さん方がつくってくれるのは経過のグラフにされておりますね。グラフ化を次の改定のときにはしていただけるかどうか、これをお伺いしておきます。

○大西樹議長 企画政策課長、松浦正吾君。

○松浦企画政策課長 竹林議員さんの御質問にお答えしたいと思います。

過疎計画につきましては、法の第8条に基づきまして、記載する項目等は決められております。計画に記載する内容等につきましても、計画の記載例に基づきまして、あらゆる事業について記述をしておりますけれども、数値的な表のところに関しましても規定をされておりますので、新たに加えることのできない表もございます。その中で数値化できるところにつきましては、個々の事業を進めていく中で、本町にもまんのう町総合計画、まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略といった計画等もございます。どちらの計画につきましても、将来の人口減少の問題を解決するために事業を進めていく内容になっておりますので、そちらの計画の数値化したKPIなどを使いまして、評価はしていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○大西樹議長 5番、竹林昌秀君。

○竹林昌秀議員 過疎法は極めて強力な議員立法でありまして、行政改革で撤廃され

ることではないと言われておりますが、政府の中では過疎法は役割を終えたのではないかと。緊急措置法から定住対策法になり、活性化法になり、自立促進法になり、今度の持続的発展法になったわけです。この経過は過疎政策の展開、社会情勢の展開を見据えたものではありません。これが5年間です。かつては過疎計画は10年だったですね。5年で打切りになったり、本町が指定から外れると、これは大変なことになります。関係する市町村と手を合わせて、次の改定前に運動を起こして、承継請願運動を国会議員を駆使して、過疎法の継承法に対して、町長、動きがあるのかどうか、これをお伺いしておきます。政治活動をしての町長に御期待申し上げます。

○大西樹議長 町長、栗田隆義君。

○栗田町長 過疎法につきましては、今年新しく5年間発行されたということで、その5年後のことについては、今、運動等はございません。

○大西樹議長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第9号は、総務常任委員会に付託いたします。

ここで、2時10分まで休憩いたしたいと思います。

休憩 午後 1時58分

再開 午後 2時10分

○大西樹議長 休憩を戻して、会議を再開いたします。

日程第19 日程第28 議案第10号 区域外道路の路線認定の承諾について

○大西樹議長 日程第28、議案第10号 区域外道路の路線認定の承諾についての件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第10号の区域外道路の路線認定の承諾についての提案理由を申し上げます。

なお、区域外道路の路線認定の承諾につきましては、道路法第8条第4の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

今回、提案路線名、三豊市道昼丹波線については、三豊市から行政区域を越えて道路整備を行い、一体的に管理するため、区域外路線の認定の依頼があり、これを承諾するものでございます。

位置、場所については、別紙のとおり図面を添付しておりますので、御参照いただきたいと思います。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第10号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、議案第10号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより、討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより、議案第10号 区域外道路の路線認定の承諾についての件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第29 議案第11号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについて

○大西樹議長 日程第29、議案第11号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについてを議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第11号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査によることについての提案理由を申し上げます。

契約後10年を経過しましたまんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業は、維持管理運営業務段階に移行して9年目に入っております。この事業は官民連携事業という特殊なものであるため、その実施内容について、私は第三者による監視が必要であると考え、事業を開始した平成23年度から個別外部監査を実施してまいりました。

一昨年度までの個別外部監査におきましては、本町のモニタリング状況及び過去に指摘された事項の改善状況を監査対象とし、昨年度の監査におきましては、これまでに指摘された事項の改善状況及びSPCの財務状況の確認を監査対象といたしました。

監査の結果、これまでに指摘された事項の改善状況に関しましては、おおむね改善した事項と継続して改善していく必要がある事項の両方がある旨の報告を受けており、SPC

の財務状況につきましては、特段問題はないとの報告を受けております。

本年度につきましては、昨年度同様、過去の監査において指摘された事項の改善状況と、SPCの財務状況を監査対象とした個別外部監査を実施したいと考えており、去る7月6日に本町監査委員に対し個別外部監査にて監査を実施することを求め、7月14日付で個別外部監査が相当であるとの回答をいただいております。

このことから、本日、地方自治法第252条の41第4項により準用される同法第252条の39第4項の規定により、官民連携事業に関する個別外部監査契約に基づく監査を実施することについて議会の議決を求めるものでございます。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第11号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第30 議案第12号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について

○大西樹議長 日程第30、議案第12号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結についてを議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第12号 まんのう町官民連携事業に関する個別外部監査契約の締結について、その提案理由を申し上げます。

本町が実施しておりますまんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業は25年間の長期契約であり、建築物維持管理業務をはじめ、図書館運營業務など、多くの業務がございます。それぞれの業務につきましては、専門的な理解を深めなければ監査の実施が難しいことから、昨年度に引き続き、本町が適切に監査を行える監査人であると認めた、高松市藤塚町一丁目10番30号、三和会計事務所に所属の税理士、米田守宏氏と来年3月末まで110万円にて個別外部監査契約を締結しようとするものでございます。

なお、このことにつきましては、去る8月25日付で本町監査委員より妥当であるとの意見をいただいております。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第12号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第31 議案第13号 令和3年度まんのう町一般会計補正予算（案）第3号

○大西樹議長 日程第31、議案第13号 令和3年度まんのう町一般会計補正予算（案）第3号の件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第13号 令和3年度まんのう町一般会計補正予算（案）第3号について、その提案理由を申し上げます。

1 ページをお開きください。

第1条で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,375万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ125億3,806万7,000円とするものでございます。

第2条の地方債の補正は、5ページの第2表を御覧ください。

これは、起債の目的にあるそれぞれの事業について、追加及び変更分を記載しております。

それでは、補正予算事項別明細書により、歳入の補正に関する主なものを御説明申し上げます。

11 ページをお開きください。

第12款分担金及び負担金の増額は、第1目農林水産業費分担金において、農地農業用施設災害復旧費分担金10万円の増額です。

12 ページをお開きください。

第14款国庫支出金3,138万1,000円の増額は、第1項国庫負担金、第2目衛生費国庫負担金において、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金として1,986万6,000円増額、第2項国庫補助金、第3目衛生費補助金で、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金として1,151万5,000円を増額計上いたしております。

13 ページを御覧ください。

第15款県支出金は2,040万5,000円の増額です。これは、第4目農林水産業費において、農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助金など、農地費補助金を合わせて1,890万5,000円増額し、林業振興費補助金として、森林病虫害等防除事業補助金を150万円追加計上いたしております。

14 ページをお開きください。

第18款繰入金は1,400万円の増額です。これは、第3目地域福祉基金繰入金を1,

400万円増額計上いたしております。

15ページを御覧ください。

第19款繰越金7,837万1,000円の増額は、前年度繰越金であります。

16ページをお開きください。

第20款諸収入は、その他雑入を10万円増額計上いたしております。

17ページを御覧ください。

第21款町債は1億3,940万円の増額です。これは、第1目総務債において、庁舎改修事業債を1億2,700万円増額し、第4目農林水産業債において、単独県費補助土地改良事業債を330万円、防災調整池改良事業債を910万円追加計上いたしております。

続きまして、歳出に関する主なものを御説明申し上げます。

18ページをお開きください。

第2款総務費は1億3,985万5,000円の増額です。これは、第1項総務管理費、第1目一般管理費において、例規整備業務委託料を150万円増額、第5目財産管理費において、修繕料を186万7,000円、本庁舎3・4階改修工事監理業務委託料など、委託料を合わせて473万円、工事請負費として、本庁舎3・4階改修工事費1億2,980万円、備品購入費を20万円増額しております。第15目支所及び出張所費においては、会計年度任用職員報酬を62万7,000円、費用弁償を1万3,000円増額し、第16目町民会館費では、清掃用具リース料を11万8,000円増額しております。第21目地方創生推進事業費におきましては、香川大学共同研究業務委託料を100万円増額計上しております。

19ページを御覧ください。

第3款民生費は2,203万9,000円の増額です。これは、第1項第2目老人福祉費において、やすらぎ荘に隣接する高齢者ふれあいランドの空調修繕工事費1,300万円及び設計委託料100万円を増額、第3目障害福祉費においては、役務費4万8,000円、ICT関連備品費20万円、償還金を599万1,000円それぞれ増額しております。第2項第5目認定こども園費におきましては、修繕料を180万円増額補正しております。

20ページをお開きください。

第4款衛生費は3,138万1,000円の増額です。これは、第1項第2目予防費において、会計年度任用職員報酬を218万6,000円、期末手当を22万9,000円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保支援業務及び新型コロナウイルスワクチン接種対策業務委託料、合わせて2,896万6,000円を増額補正しております。

21ページを御覧ください。

第5款労働費は、第1目勤労青少年ホーム管理費において、舗装工事費を160万円追加計上いたしております。

22ページをお開きください。

第6款農林水産業費は3,997万1,000円の増額です。これは、第1項第5目農地費において、農道水路等施設管理及び土地改良工事設計委託料を合わせて90万1,000円増額、工事請負費では、農業用施設維持修繕工事費を920万円、土地改良工事費を600万円、ため池ハザードマップ看板設置工事費を1,521万9,000円増額、負担金、補助及び交付金では、多面的機能支払交付金を110万円増額補正しております。第2項第1目林業総務費においては、ナラ枯れ防除作業業務委託料を300万円を新規計上し、第2目林道事業費においては、林道草刈業務委託料を105万1,000円、林道維持補修工事費を320万円、資材費を30万円それぞれ増額補正しております。

23ページを御覧ください。

第7款商工費は、第1項第2目観光費において、広告料を33万円、仲南振興公社経営診断及び改善計画策定業務委託料を550万円新規計上いたしております。

24ページをお開きください。

第8款土木費は2,243万円の増額です。これは、第2項第2目道路橋梁維持費において、修繕料から工事請負費まで維持補修事業費を合わせて1,058万円増額し、第3項第3目河川改良費におきましては、河川整備工事費を420万円増額、第4項第2目公園費では、消耗品費、修繕料を合わせて250万円を増額、第5項第1目住宅管理費においては、修繕料を90万円、委託料を25万円、町営住宅改修工事費を400万円それぞれ増額補正いたしております。

25ページを御覧ください。

第9款消防費は160万円の増額です。これは、第1項第2目非常備消防費において、自衛消防屯所及び資材整備補助金を100万円増額し、第4目消防施設費においては、役務費を10万円、委託料を50万円増額計上いたしております。

26ページをお開きください。

第10款教育費は1,795万1,000円の増額です。これは、第2項小学校費、第1目学校管理費において、会計年度任用職員報酬を170万9,000円、防球ネット修繕など修繕費782万円、委託料を50万円それぞれ増額しております。第2目教育振興費では、会計年度任用職員報酬を143万5,000円増額し、第3項中学校費、第2目教育振興費においても、会計年度任用職員報酬を69万7,000円増額しております。第5項第2目公民館費においては、修繕料から備品購入費まで合わせて505万円を増額し、第6項第4目給食場費においては、燃料費を74万円増額計上いたしております。

27ページを御覧ください。

第11款災害復旧費は、農地農業用施設災害復旧事業費として、委託料、工事請負費、合わせて110万円を増額補正しております。

なお、28ページに地方債の現在高等に関する調書を添付いたしておりますので、お目通しのほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上、議案第13号 令和3年度まんのう町一般会計補正予算（案）第3号につきまして御説明申し上げました。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第13号は、総務常任委員会に付託いたします。

日程第32 議案第14号 令和3年度まんのう町下水道特別会計補正予算（案）第1号

○大西樹議長 日程第32、議案第14号 令和3年度まんのう町下水道特別会計補正予算（案）第1号の件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第14号 令和3年度まんのう町下水道特別会計補正予算（案）第1号について、その提案理由を申し上げます。

31ページをお開きください。

第1条第1項で、歳入歳出それぞれ306万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億756万円とするものでございます。

それでは、事項別明細書39ページをお開きください。

歳入では、第1款分担金及び負担金において、下水道事業受益者負担金124万7,000円を増額し、第7款繰越金において、前年度繰越金を181万3,000円増額計上しております。

40ページをお開きください。

これに対する歳出といたしまして、第1款総務費において、受益者負担金前納報償金を23万円増額し、第2款施設費において、委託料を33万円、下水道施設整備工事費を250万円増額計上いたしております。

以上、議案第14号を御説明申し上げます。

御審議の上、御議決賜りますようよろしくお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第14号は、建設経済常任委員会に付託いたします。

日程第33 議案第15号 令和3年度まんのう町農業集落排水特別会計補正予算（案） 第1号

○大西樹議長 日程第33、議案第15号 令和3年度まんのう町農業集落排水特別会計補正予算（案）第1号の件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました、議案第15号 令和3年度まんのう町農業集落排水特別会計補正予算（案）第1号について、その提案理由を申し上げます。

43ページをお開きください。

第1条第1項で、歳入歳出それぞれ159万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,249万円とするものでございます。

それでは、事項別明細書51ページをお開きください。

歳入では、第1款第1目一般会計繰入金を41万3,000円増額し、第5款繰越金において、前年度繰越金を117万7,000円増額計上しております。

52ページをお開きください。

これに対する歳出といたしまして、第1款施設費、第1目農業集落排水施設管理費において、需用費を90万円、委託料を24万円、工事請負費を45万円、合わせて159万円を増額計上しております。

以上、議案第15号について御説明申し上げます。

御審議の上、御議決賜りますようお願いいたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。本議案は委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第15号は、建設経済常任委員会に付託いたします。

日程第34 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

○大西樹議長 日程第34、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についての件を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 次の者を人権擁護委員候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めます。

1名は、住所、まんのう町七箇、近藤玲子です。

もう1名は、住所、まんのう町造田、田中淳です。

人権擁護委員は、人権擁護委員法を根拠とし、人権に関する啓発活動や相談活動等を行っており、全国の市町村を区域に設置されております。

まんのう町におきましては、現在8名の人権擁護委員が法務大臣より委嘱されているところであります。

また、人権擁護委員の任期は3年ですが、仲南地区、近藤玲子氏が令和3年9月30日をもって任期満了になりますことから、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、引き続き、同氏を人権擁護委員に推薦するものであります。

同氏は、地域において積極的に様々な活動に参加し、地域社会で信頼されております。人権に対する理解に加え、誰からも慕われる人格や見識及び中立公正さを兼ね備えていることから、適任であると考えております。

次に、人権擁護委員の琴南地区の田中淳氏が令和3年9月30日をもって任期満了になりますことから、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、引き続き、同氏を人権擁護委員に推薦するものであります。

同氏は、各種の人権啓発活動に積極的に参加し、人権擁護委員としての熱意、人権に対する理解に加え、地域社会で信頼されるに足りる人格見識や中立公正さを兼ね備えていることから、適任であると考えます。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りします。

ただいま議題となっております諮問第1号は、委員会付託、討論を省略して、直ちに採決を行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は委員会付託、討論を省略することに決定いたしました。

これより、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についての件を採決いたします。

お諮りします。

本件については、適任と答申することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は適任と答申することに決しました。

日程第35 発議第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

○大西樹議長 日程第35、発議第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の件を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

9番、三好郁雄君。

○三好郁雄議員 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書。

発議第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書を、まんのう町議会会議規則第14条の規定により提出いたします。

提出者は私、三好郁雄です。

賛成者は川原茂行議員、川西米希子議員です。

それでは、提案理由を申し上げますが、お配りしておりますお手元の案文を読み上げて説明に代えさせていただきます。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書。

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記。

1、令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。また、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

3、令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2

年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。

4、令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、さらなる延長は断じて行わないこと。

5、炭素に係る税を創設または拡充する場合には、その一部を地方税または地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出をするものです。

御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

以上で、説明を終わります。

○大西樹議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りします。

ただいま議題となっております発議第1号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、発議第1号は委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより、討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより、発議第1号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大西樹議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

なお、次回会議の再開は、9月14日、午前9時30分といたします。本議場に御参集願います。

本日はこれで散会いたします。お疲れさまでした。

散会 午後2時47分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和3年9月13日

まんのう町議会議長

まんのう町議会議員

まんのう町議会議員